

かすかに残る史跡を訪ねて

11kmコース

# 廃線コース

## コンセプトポイント



### 1 であいのみち

別府鉄道土山線の軌道跡地を利用し、緑道として整備された道。別府鉄道土山線は別府港にある多木製肥所（現在の多木化学）で製造された化学肥料や製鉄化学工業（現・住友精化）の製品を輸送するために、山陽本線との接続路線として開業したが、1984年に廃止された。

**チェックポイント** 昔の鉄道のレールの軌跡に沿って歩くことができる。



### 2 播磨町郷土資料館

播磨町郷土資料館では、播磨地方の歴史と文化を紹介しており、資料館の横には、別府鉄道土山線で使われていたディーゼル機関車と客車も展示してある。ディーゼル機関車は1953年に倉敷市交通局（現水島臨海鉄道）の機関車として川崎車輛で製造されていたもの。客車は1926年、神中鉄道（神奈川県）開業時に汽車会社で製造された客車で、三岐鉄道に譲渡された後、1959年に別府鉄道に入線し、使用されていた。

**チェックポイント** 当時実際に利用されていた車輛を見ることができる。



### 3 山電ガード下

1923年（大正12年）に開通した別府鉄道土山線（4.1km）の軌道が山陽電鉄高架橋の下をくぐっていた場所。かつての別府港駅～中野駅間にあり、現在では周辺の市民の大切な生活道路となっている。

**チェックポイント** くすんだ石・コンクリート造りの壁面は歴史の重みを感じさせてくれる。



## よりみちポイント

- A** スタート・ゴール地点 平岡公民館
- B** 野添北公園
- C** 野添であい公園
- D** 大中遺跡

【凡例】

- モデルコース
- 1～3 コンセプトポイント
- A～D よりみちポイント

©That's & Trial 2010

